

第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会 設立趣旨

岡山県は、みどり豊かな中国山地に 3 つの河川（吉井川、旭川、高梁川）が源を発し、良質で豊かな水をたたえながら吉備高原、岡山平野を経て、風光明媚な瀬戸内海に注いでおり、みどりと水に恵まれた環境の中で多様な自然が育まれています。こうした多様で身近な自然は、生物多様性の保全やレクリエーションの場の提供、木材の生産など、私たちの快適な生活に欠くことのできない大切な役割を担っています。

また、本県は、県土の約 7 割を森林が占めており、生産量国内トップクラスのヒノキを始めとする豊富な森林資源を活用し、「伐って・使って・植えて・育てる」という林業のサイクルを循環させることで、県民共有の財産である岡山の森林をより良い姿で次の世代に引き継いでいかなければなりません。

こうした中で、令和 6 年春に、「第 74 回全国植樹祭」を本県で開催することは、大変意義深いものとなります。

この「第 74 回全国植樹祭」を通じて、県民の緑化意識の醸成を図り、未来に向けて豊かな森林を守り育てる取組を進めるとともに、本県の自然や歴史・文化など、様々な魅力を全国に発信する絶好の機会とし、岡山ならではの特色ある有意義な大会とします。

「第 74 回全国植樹祭」の成功に向け、万全の準備を進めるとともに、円滑な大会運営を行うため、県内の幅広い機関、団体の参画のもと「第 74 回全国植樹祭岡山県実行委員会」を設立します。

令和 2 年 11 月 16 日